

# 意見書案第 22 号

## 消費税 10%への増税中止を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を  
求める。

平成 26 年 12 月 16 日提出

提 出 者	中間市議会議員	青 木 孝 子
賛 成 者	〃	宮 下 寛
〃	〃	田 口 澄 雄

## 消費税10%への増税中止を求める意見書

今年4月から消費税率が5%から8%に引き上げられ、暮らしと景気に大きな打撃を与えています。物価が上昇を続ける中で、実質賃金の低迷が続き、増税の影響も加わって消費がより一層、落ちこんでいます。

地域の雇用や経済を支えている中小企業のなかには廃業や倒産する商店も生まれています。

総務省が発表した5月の家計調査では、消費支出が前年同期比8.0%減り、東日本大震災が発生した2011年3月のマイナス8.5%以来の落ち込みとなりました。その落ち込みは7月になっても止まらず、7月の家計調査でも実質消費支出は5.9%も減少しています。政府が景気判断で景気の反動が「和らぎつつある」との見方を撤回したのも当然です。

国内総生産（GDP）全体でも、年率7.1%もの大幅な落ち込みです。

消費税は、これまで「社会保障のため」「国の財政再建のため」として導入され、税率が引き上げられてきました。しかし、年金は引き下げられ、その一方で、医療や介護の負担は増大しています。70歳から74歳までの医療費窓口負担も1割から2割に引き上げられました。

このうえ消費税を10%に引き上げることは、国内総生産（GDP）の6割を占めている個人消費がますます落ち込み、経済状況の更なる悪化は明らかです。

よって、中間市議会は、国会及び政府に対し、消費税10%への増税中止を求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成26年12月16日

中間市議会

衆議院議長 伊吹 文明 様  
参議院議長 山崎 正昭 様  
内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
財務大臣 麻生 太郎 様